



報道関係者各位

2026 年 【○】 月 【○】 日

小松ウォールアイティ株式会社

— 街の記憶が、働く場に浮かぶ。 —

「_ing Exhibition Vol.3 指江昌克」 11 月 25 日～開催

“働く場”で、会期中に作品が増えていく展覧会

11 月 25 日は、金沢 21 世紀美術館 館長 鷺田めるろ氏を迎え、オープニング鼎談を開催

小松ウォールアイティ株式会社（本社：石川県金沢市、代表取締役社長：鍛冶 渉）は、アートとオフィスの融合プロジェクト「_ing」の第 3 弾として、アーティスト・指江昌克氏による展覧会「_ing Exhibition Vol.3 指江昌克」を 2026 年 11 月 25 日（水）から 2027 年 2 月 26 日（金）【会期末：要確認】まで開催します。

初日の 11 月 25 日（水）には、金沢 21 世紀美術館 館長 鷺田めるろ氏、指江昌克氏、当社代表取締役社長 鍛冶渉の 3 名によるオープニング鼎談を行います。

_ing Exhibition Vol.3 のテーマ | 「分断された構造を、つなぎ直す」 【テーマの言葉：指江氏と要確認】

指江昌克氏は、古びた建造物や看板、室外機など、日常風景の断片を貼り合わせた「球体の街」を油彩で描き続けてきたアーティストです。2026 年春には、当社本社のシャッターにシャッターアート《COUPLER》（連結装置）を制作。「遮るもの」であるシャッターやパーティションを、人と人、企業と社会を「つなぐもの」として描き直しました。

本展は、その《COUPLER》の内側、当社本社 3 階の特設スペースで開催します。磁石の付くパーティションの壁面に、メインとなる約 1 メートル角の作品と、ドローイング約 15 点を展示。会期中にも作品が加わり、展示そのものが少しずつ増えていきます。【展示内容：指江氏と要確認】

アートとオフィスをつなぐ「_ing」 | プロジェクトの歩み

「_ing」は、空間の可変性と創造性を追求してきた小松ウォールアイティが立ち上げた、アートと働く環境を融合させるプロジェクトです。Vol.1（2025 年 5 月・染色作家 岩井美佳氏）では、60 名が参加したオープニングイベントと、150 名を超える来場者を迎える展示を実現し、テレビや新聞など 43 件のメディアに掲載されました。Vol.2（2025 年 9 月～11 月・画家 桜井旭氏）では、幅約 5 メートルの大作をパーティションで曲面に展示しました。2026 年には、本社シャッターアート《COUPLER》の完成、オフィスのリニューアルと、「_ing」の舞台そのものも変わり続けています。

「_ing Exhibition Vol.3 指江昌克」 | 見どころ

- 球体の街を描く指江昌克氏の油彩の新作とドローイングを展示。
- 磁石の付くパーティションを使い、会期中に作品が増え、並びが変わっていく「育つ展示」。
- 建物の外にはシャッターアート《COUPLER》。外と内の両方で、指江氏の作品に出会えます。
- 初日には、金沢 21 世紀美術館 館長 鷲田めるろ氏を迎えたオープニング鼎談を開催。

短期間で展示の配置を組み替えられるのは、パーティションの施工技術と、独自の磁石施工を長年積み重ねてきた小松ウォールアイティならではの強みです。「働く空間の可能性」を、ぜひその目でご体感ください。

▼ 開催概要

- 展覧会名：_ing Exhibition Vol.3 指江昌克
- 開催期間：2026 年 11 月 25 日（水）－2027 年 2 月 26 日（金）10:00－17:00（平日のみ・要事前申込）【年末年始の休み：要確認】
- 開催場所：小松ウォールアイティ金沢本社 3F 特設スペース（石川県金沢市新保本 2 丁目 607 番地）
- 見学申込：申込フォーム（<https://forms.gle/Pp9X9JePN1izU6um7>）
- 特設ページ：<https://ing.wall-it.com/>

▼ アーティスト在廊日

- 11 月 25 日（水）オープニング鼎談にて在廊。そのほかの在廊日は決まり次第、特設ページでお知らせします。【在廊日：指江氏と要確認】

オープニング鼎談 | 詳細情報

金沢 21 世紀美術館の館長として、また長くキュレーターとして金沢のまちとアートに関わってきた鷺田めるろ氏と、金沢を拠点に国内外で活動する指江昌克氏、小松ウォールアイティ株式会社 代表取締役社長 鍛冶渉が、「まち」と企業とアートのこれからを語り合います。企業がアートを支えるだけでなく、アートと手を組みながら事業を受け継ぎ、育てていく。その姿を金沢から発信します。

▼ オープニング鼎談 概要

- テーマ : 街とアート、企業の関わり方 **【鼎談タイトル：10 月中に決定】**
- 開催日時：2026 年 11 月 25 日（水）18:00－20:00（受付開始 17:30） **【時間：要確認】**
- 開催場所：小松ウォールアイティ金沢本社 3F 特設スペース（石川県金沢市新保本 2 丁目 607 番地）
- 登壇者 : 鷺田 めるろ（金沢 21 世紀美術館 館長）／指江 昌克（アーティスト）／鍛冶 渉（小松ウォールアイティ株式会社 代表取締役社長）
- 参加方法：申込フォーム（<https://forms.gle/rhxAVhpyRei2qZrC7>）より事前申込
- 定員 : **【〇】** 名（要事前申込・1 グループ 3 名まで） **【定員：要確認】**
- 駐車場 : 台数に限りがあるため、お車は 1 グループ 1 台でお願いいたします

登壇ゲスト

鷺田 めるろ（金沢 21 世紀美術館 館長）

1973 年京都府生まれ。東京大学大学院美術史学専攻修士課程修了。1999 年から 2018 年まで金沢 21 世紀美術館キュレーターを務め、2017 年には第 57 回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館キュレーターを務める。あいちトリエンナーレ 2019 キュレーター、十和田市現代美術館 館長を経て、2025 年 4 月より金沢 21 世紀美術館 館長。 **【経歴の表記：ご本人・美術館に要確認】**

展示アーティスト

指江 昌克（さしえ まさかつ） **【読み：要確認】**

伝統工芸が今なお息づく石川県金沢市に生まれ、現在も同地を拠点に制作活動を行うアーティスト。過去から現在に至る時間の流れの中で積み重ねられた日常風景の断片を収集・構成し、現代の風景として油彩で表現しています。

代表的な球体モチーフの表現は、金沢美術工芸大学大学院在学中に考案されたもので、2000年に大学院修了後、球状の建造物が都市に浮かぶ風景を描いた作品を軸に本格的な作家活動を開始しました。2005年、トリビュートイベント「フィッシュマンズ展」(NANZUKA UNDERGROUND／現NANZUKA)に参加。2007年には、村上隆によるアートイベント GEISAI から選出された作家によるグループ展「GEISAI in GIANTROBOT」(ロサンゼルス)に参加し、海外での活動を本格化させました。2008年、三瀧アートギャラリーのグループ展「眼差しと好奇心 vol.4」を契機に、2014年まで同ギャラリー所属作家として活動。以降はインディペンデントアーティストとして、アメリカ、欧州、アジア、中東など国内外で作品発表を続けています。指江氏の作品は国際的に個人および企業のコレクションに収蔵されています。

▼ 指江昌克氏 – アーティスト・ステートメント

「私の作品は、現代社会の複雑な構造を象徴的かつ断片的に再構築する試みです。中心的なモチーフである球体は、地球そのものを象徴し、そこに貼り付けられた古びた建造物や都市の断片は、私たちの生活を支える物質的、文化的基盤を示しています。この球体は、過去と現在、個人と集団、自然と人工物が交差する「世界の構造」を象徴的に表現しています。現代社会の多層的な構造を解体し、それを新しい視点で再構築することで、観る者にこの世界の本質について再考する機会を提供したいと考えています。私たちが共有する「今」と「未来」を問い続けることこそ、私の創作の目的です。」

▼ 指江昌克氏 – 本展へのコメント

【指江氏にコメントを依頼（Vol.2 では展示への思いを 150 字ほど）】

▼ 指江昌克氏 – プロフィール

1974年石川県金沢市生まれ。1993年金沢辰巳丘高等学校芸術コース卒業。1998年金沢美術工芸大学卒業。2000年金沢美術工芸大学大学院修了（修了制作 金沢市買上）。石川県金沢市在住。主な展覧会：2020年「THE PATCH」Merry Karnowsky Gallery（ロサンゼルス）、2021年「LOOP」Dorothy Circus Gallery（ローマ）、2023年「蛍光灯のまたたき」ギャラリーO2（金沢）、2025年「Aufheben」i Gallery Osaka（大阪）、2025年「SYMBOL」Outré Gallery（メルボルン）。

小松ウォールアイティについて

小松ウォールアイティ株式会社は、パーティション・ドアの販売から設計、施工、メンテナンスまで一貫して手がける、空間創造のトータルソリューション企業です。空間に関する多様な課題に対し、最適な製品とサービスで解決を図り、その可能性と価値を最大限に引き出すことを使命としています。

私たちは、「空間をデザインすることは、人の思考や行動、関係性をデザインすること」と捉えています。機能性だけでなく、創造性や温もりを大切に、人が心地よく働き・集い・つながる場を提案します。強みである空間の“可変性”と“施工力”を活かし、時代やニーズの変化に応じて柔軟に空間を進化させます。本プロジェクトをはじめ、アートやクリエイティブとの融合を通じて、働く人や企業の可能性を広げる空間づくりに挑戦しています。

「空間に新しいストーリーを」という理念のもと、社員一人ひとりの成長と自己実現を支え、企業・地域・社会と深くつながり、より豊かな未来の創造に貢献してまいります。

▼ 会社概要

社名 : 小松ウォールアイティ株式会社
本社所在地 : 石川県金沢市新保本2丁目607番地
代表取締役 : 鍛冶 渉
事業内容 : パーティション・ドアの販売、設計、施工、メンテナンス
設立 : 1971年10月13日
TEL : 076-249-0412
コーポレートサイト : <https://www.wall-it.com>
_ing 特設ページ : <https://ing.wall-it.com/>
X (旧 Twitter) : https://x.com/_ing_project
Instagram : https://www.instagram.com/_ing_project/

【本件に関するお問い合わせ】 小松ウォールアイティ株式会社 _ing プロジェクト TEL 076-249-0412 / MAIL _ing@wall-it.com **【担当者名：要確認】**